

2019年度 行事報告

【総会】

日 時：2019年6月30日（日）
場 所：佐倉城址公園
参加者数：96名（大人89名、子供7名）

総会が佐倉城址公園で行われました。事務局より30年度会計報告と、平成31/令和元年度世話人、行事予定の提案があり、承認されました。

【85回観察会】

日 時：2019年6月30日（日）
場 所：佐倉城址公園
参加者数：96名（大人89名、子供7名）
採 集 数：同定：42種、未同定：18種以上

雨が降ったり止んだりのなか、ゲストの学生さんたちを含む90人超えの盛況となった。

きのこはあまり出ていないかもという事前情報もあったが、ベニタケの仲間やテングタケの仲間もいろいろ、クロラッパタケやオリーブサカズキタケ、アカダマキノガサタケなども出現、そして見事な人の頭ほどの大きさのオニフスベが印象的で、特にオニフスベは参加者それぞれの記念写真のネタになっていた。

個人的にはついでに季節のマダケの竹の子もゲットしたりなどして、今回も和やかで楽しい会であった。しかし残念ながら2019年唯一の観察会となってしまった。
(菊乃)

観察記録 (50音順) ()内は博物館の標本番号
アイゾメクロイグチ(FB-44307)、アイバシロハツ、アカダマキノガサタケ(FB-44304)、アミスギタケ、アラゲキクラゲ、イロガワリ



第85回観察会 集合写真 2019年6月30日 於：佐倉城址公園



(FB-44313)、オオツルタケ、オオホウライタケ、オオミノコフキタケ、オニイグチモドキ (FB-44301)、オニフスベ (FB-44296)、オリーブサカズキタケ (FB-44298)、カノシタ (FB-44314)、キチャハツ、キヒダタケ (FB-44306)、クモタケ、クリイロイグチ (FB-44315)、クロラップタケ、ケショウハツ (FB-44311)、コウジタケ、コザラミノシメジ、コブリビロードツエタケ (FB-44319)、スジウチワタケモドキ (FB-44300)、ダイダイガサ、タマゴテングタケモドキ、ツチグリ (FB-44320)、ツチヒラタケ (FB-44297)、ツノツマミタケ (FB-44305)、ツルタケ、テングタケ、テングツルタケ、トゲミノカラカサタケ、ニオイコベニタケ、ニオイワチチタケ (FB-44310)、ハイイロイタチタケ (FB-44302)、ハナオチバタケ、ヒイロタケ、ヒトヨタケ (FB-44309)、ヒラフスベ (FB-44316)、フクロツルタケ (広義)、ミドリニガイグチ (FB-44317)、ヤナギマツタケ、*Agaricus* sp.、*Bisporella* sp.、*Boletus* sp.、*Cantharellus* sp.、*Conocybe* sp.、*Dacrymyces* sp. (FB-44312)、*Dacrymyces* sp. (FB-44318)、*Entoloma* sp.、*Gymnopilus* sp.、*Inocybe* sp. (FB-44303)、*Laccaria* sp.、*Leucoagaricus* sp.、*Limacella* sp. (FB-44299)、*Marasmius* sp.、*Pluteus* sp.、*Psathyrella* sp.、*Scleroderma* sp.、*Xerocomus* sp.

【86 回観察会】

日時：2019年9月28日 (土)
場所：泉自然公園

— 台風15号の影響により中止 —

【87 回観察会】

日時：2019年10月13日 (日)
場所：いちはらくオードの森
(旧市原市民の森)

— 台風15号の影響、および
台風19号の接近により中止 —

9月9日に千葉県に上陸した台風15号は、会場の公園のみならず広域が破壊され、記録的な災害として爪痕を残した (のちに激甚災害に指定、令和元年房総半島台風と命名された)。約1か月経っても復旧は各地で難航、加えてさらなる巨大な台風19号の接近により、この秋に予定していた観察会は、やむなく中止となった。2020年は平穏であれと切に願うばかりである。(菊乃)

— 事務局から —

頻繁にみるメールアドレスの登録をお願いします！
開催中止などの緊急の連絡がある場合、直接ご連絡いたします。いちど登録されている方も、確認のため再度登録をお願いいたします。

連絡先 → [事務局：fukiharu@nifty.com]

【第63回日本菌学会参加】

日時:2019年5月25日(土)~26日(日)
場所:秋田県立大学(秋田県)

日本菌学会第63回秋田大会のアマチュアの有志によるコーナー「アマチュア展示2019」へ参加、本会のポスター紹介と会報バックナンバーの展示を行いました。

【自然誌フェスタ千葉】

日時:2019年11月3日(日・文化の日)
場所:千葉県立中央博物館

昨年同様、ポスターによる活動報告と会報や絵葉書展示・販売、きのこスタンプによる図鑑づくりを行いました。

このイベントは今年で6回目を迎え、千葉県立中央博物館と連携して活動している様々な分野の団体が一堂に集まり、千葉の自然と文化についての知見を広めることを目的とするものです。まだ足を運んだことのない方は、文化の日は入館が無料となるので、次回はずいぶん参加を！展示だけでなく、体験コーナーも盛りだくさん、大人も子どもも楽しめます。

【第28回スライド会】

日時:2020年1月11日(土)
場所:千葉県立中央博物館講堂
参加者数:67名(大人64名、子供3名)

博物館との共催にて開催されました。終了後は、新年会となり会員同士の交流を深めました。

スライド発表(発表順)

須賀良行:2019年のキノコ
木下裕美:孢子画
中島淳志:菌類学文献からの自動トリプル抽出とその可視化
井上佳男:最近発表した論文から
根田 仁:日本人ときのこ

大作晃一:写真のとり方
林 智絵:モデル栽培最前線
中村麻衣:行徳鳥獣保護区で活動しています!
松崎聖子・浩三:退職夫婦のきのこ生活・活動報告・告知・お知らせ
山野辺駈:2019年のきのこ
石井陽向:キノコっておもしろい!
沢田明宏:富士山「まなびの森」のキノコたち
大久保泰和:きのこはどのように進化したのか?
前川啓二:ロンドンのきのこ屋さん
波部 健:展きのこ

小物展示コーナー

<写真・書籍・資料等>

- ・『ヤマドリタケモドキの発生 - 行田公園 12年目のデータ - 』
- ・『毒きのこに生まれてきたあたしのこと。』

<小物展示品>

あみぐるみ(テングタケ属、キヌガサタケ、アカイカタケなど)、手芸アート作品(カゴタケ他)、枯葉のワークショップ、きのこ孢子画、森で採ったきのこでつくったアクセサリと小物、マトリョーシカ、絵葉書、メモ帳、カプセルトイのきのこ、きのこ財布、Mycobook、きのこプリントのTシャツ、小物入れ、お菓子(松茸、松露、トリュフ)、菌帝国キノコ相当ドクターケン、トリュフ入りきのこスープ、盆栽、きのこ立体図鑑、クッキー、キャラメル、他。

※お名前は割愛させていただきました。今年もご参加いただきましてありがとうございました。

